

人生ハンド仏句

第159号

H. 27. 6. 1

(毎月1日発行)

魂を磨く

住職 谷川寛俊

私の尊敬する経済界の中に稲盛和夫という人物がおられます。よくご存知の方もいらっしゃると思います。鹿児島出身で齢八十三歳を迎える稲盛氏は、日本航空が破綻し、政府から立て直しを命じられ、わずか三年でV字回復を実現された事で一躍世間にその名が轟きました。V字回復までの三年間は無報酬で、現在の立派な日本航空を再建したのです。京セラ会長・KDDI最高顧問・日本航空名誉会長、またボランティアで国内五十四塾、海外十七塾、約九千名にも及ぶ若い経営者が集まる「盛和塾」の塾長として、経営者の育成に今なお心血を注いでおられます。

を受けた箇所があるので、少々長いですがご参考まで以下に記させていただきます。

《人生の目的は魂を磨くこと。そして生まれてきた時よりも、少しでも美しいものにする為に生まれてきたのだと思います。そして、心を磨くとは、魂を磨く事です。言葉を換えれば、人格を高めるといことです。人間性を豊かにし、美しい人間性をつくっていくということなんです。人間は本来、真善美を求めると言われています。「真」とは正しい事であり、「善」とは善きことであり、「美」とは美しいものです。人間はこれら3つのものを探求する心を持っていきます。それは、人間そのもの自体が真善美という言葉で表現できる美しい真我、魂を持っているからではないかと思うかと思っております。だとすれば、私達人間が本来持っている、愛と誠と調和に満ちた美しい心をつくっていくことこそ、私達がこの人生を生き抜くための目的ではないかと思うのです。愛と誠と調和に満ちた美しい心をつくっていくことが、自分の人生をさらに豊かにしていくのだと思うので

「人生ハンド仏句」

と打ち込んで頂けば、ホームページにつながります。

編集・発行

玉蓮山 真成寺

編集部 谷川久仁子

TEL・FAX 0765-22-2268

携帯 080-3744-2523

こちらの番号でもお寺につながります。

稲盛氏は、六十歳を機に臨済宗妙心寺派で、在家得度されておられます。在家得度とは、出家せずに仏門に入り、通常の生活を営みながら、仏弟子として修行する事です。私達は、稀代の経営者と謳われる稲盛氏から、生き方の本質、生きる姿勢を掴まなければならないのかもしれない。

